

ノーリツ、住宅設備機器業界で初めて 明石本社工場内に企業主導型保育園を7月に開設

～従業員の育児休業からのスムーズな復帰をサポート～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ（本社：神戸市、代表取締役社長：國井総一郎、資本金：201億円、東証一部上場）は、明石本社工場内（明石市二見町）に住宅設備機器業界では初となる企業主導型保育園を開設し、2017年7月1日から運営を開始します。



2017年7月1日開園の企業主導型保育園（イメージ図）

ノーリツグループは、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）をめざし、多様な社員が“自分らしく生き活きと働く”環境づくりに取り組んでいます。今回の企業主導型保育園の開設は当社グループ従業員とその家族に対し、育児と仕事の両立を会社が支援することを目的としています。

明石本社工場とその近隣事業所には当社従業員の約4割が就業しており、毎年多くの従業員が産前産後休業、育児休業を取得し復職しております。当保育園開設により、子どもの預け先が見つからないことによる退職や、意図しない育児休業の延長を回避することができ、出産後の早期復帰や継続したキャリア形成を可能とします。なお、スムーズな復帰をサポートするため、希望者には生後57日からの入園も可能とし、特に待機児童の多い乳児の入園を優先します。

当保育園は、(株)ノーリツが設置、(株)ノーリツが100%出資する(株)エスコアハーツ（所在地：兵庫県加古郡、代表取締役社長：林 拓次）が運営、保育事業は(株)チャイルドハート（所在地：神戸市、代表取締役社長：木田 聖子）に外部委託します。

【保育園の概要】

事業の種類	企業主導型保育事業
事業所の名称	社内公募により2月末決定予定
事業所の所在地	兵庫県明石市二見町南二見5（ノーリツ明石本社工場内）
管理者（施設長）	株式会社エスコアハーツ 代表取締役社長：林 拓次
外部委託保育事業者	株式会社チャイルドハート
利用定員	19人
保育時間	7時半～18時半（延長時間7時～、～19時半まで）
開園日	当社の出勤日カレンダーに従う
保育対象	ノーリツ直接雇用社員と保育に関する法人契約を結んでいるグループ会社の直接雇用社員が対象

【保育方針】

一人ひとりがかけがえのない存在だと感じられるよう、子どもたちと丁寧にかかわります。人の痛みがわかり、社会性豊かな、友達を思いやるやさしい心が育つよう、子どもたち同士のかかわりを大切にします。また、子どもがよく考え、最後までやり遂げる力が身につくよう、温かく見守ります。さらに保護者が安心して子どもを任せ、勤務できるよう、子どもたちにとっての最善について知恵を出し合い、より質の高いサービスの提供を目指します。

【参考】

【ノーリツグループの仕事と家庭の両立支援】

当社では以前から、仕事と家庭の両立支援に向けて取り組んでいます。2015年には、従業員が仕事と子育てを両立させることができ、すべての従業員がその能力を十分に発揮できるようにするため、次の通り行動計画を策定しております。

(計画期間：2015年4月1日から2020年3月31日までの5年間)

目標1：計画期間内の育児休業取得状況を、次の水準にする

男性従業員：5年間で1名以上取得する

女性従業員：5年間で取得水準を、現状通り90%以上を維持する

目標2：育児休業からの復職後もしくは子育て中の従業員に対する支援策として、カウンセリングサービスの利用促進を図る

目標3：フレックスタイム制の適用部門・対象者を拡大する

目標4：一般従業員の年次有給休暇について、一人当たりの平均取得日数を増加させる。

【ノーリツグループの女性活躍支援】

2006年、一人ひとりが自分らしく生き活きと働ける環境にしたいという思いから“ビタミンWスクエア”と称し、あらゆる部門から女性メンバー10名が集結。特に女性が活躍しやすい環境づくりを働きかける活動を行ってきました。定例でメンバーが集合し、「育児と仕事の両立支援ガイド」の作成や定期発行する「ビタミン通信」の発行、その他職場訪問や女性向けセミナーの実施など女性活躍の支援を行っています。今後はダイバーシティの実現に向け、さらに活動の幅を広げていきます。



女性向けセミナーや意見交換会の様子